

§ 5-3. 情報システム工学科 / Dept. of Information and Systems Engineering

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

■教育研究上の目的

今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。

■ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

共通コンピテンシー (能力・資質)		定義	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー (編成方針)
DP1	A	幅広い教養	リベラルアーツを目指した知識と思考力	多面的視点から思考する力を身につけるために、リベラルアーツの各分野の科目、技術者の倫理と歴史に関する科目を配置する。
	B	専門知識・技能	当該分野において必要とされる知識と技能	情報システム技術者として、応用情報、計測制御、生体情報分野に必要な知識と技能を身につけ、問題解決に応用できる。
DP2	C	ライフデザイン力	自分の将来を設計・構想し、成長を目指すことができる力	進路や職業について理解し、自身の将来を設計・構想する力を身につけるための科目を配置する。
	D	メタ認知・実現力	自らを客観的に理解し、目標を実現できる力	自身の適性を理解し、計画的に目標に取り組み実現する力を身につけるための科目を配置する。
DP3	E	グローバルマインド	異なる背景や文化を持つ人々と積極的に関わり、協働できる力	自身および他者の役割を理解し、多様な価値観の構成員と協働する力を身につけるための科目を配置する。
	F	未来構想力	より良い未来を構想し、新しい解を生み出す力	自身が目指す未来を構想し、新しい発想で問題を解決する力を身につけるための科目を配置する。
DP4	G	デジタル力	数理の基礎知識を基に、情報を的確に整理・分析することができる力	情報を的確に整理・分析する力を身につけるために、数理法則の基礎、データサイエンス、機械学習の基礎知識に関する科目を配置する。
	H	発信力	自らの考えを適切に伝えることができる力	自らの考えを適切に伝える力を身につけるために、コミュニケーション能力、技術文書作成、プレゼンテーションに関する科目を配置する。

■カリキュラム・ポリシー（実施方針）

【学修方法】

1	情報システム工学における知識の修得と能動的な学習態度の涵養のために、情報技術、ロボット制御、生体システムの各分野の科目の特色を生かしたアクティブ・ラーニングを取り入れる。
2	情報システム工学における正課内外での学習記録の蓄積と、学修成果の振り返りを通して、目指す将来のキャリアに基づく自己の課題や目標を考え、主体的な学習の習慣化を図る。
3	情報システム工学における学びと社会とのつながりを知る機会を取り入れるとともに、多様な価値観の構成員と協働して課題解決を行うプログラムを実施する。
4	情報システム工学における学修活動全般において、数理的なものの方見方を身に付け、情報を的確に整理・分析する機会や、適切なデジタルツールを用いて自らの考えを発信する機会を確保する。

【学修成果の評価】

1	各授業科目の学修内容、修得する知識・能力、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバス等により学生に周知し、それに則した適切な成績評価を行う。
2	ディプロマ・ポリシーで示された資質・能力の達成状況については、全学的な学生調査や卒業研究、卒業論文等の成果物によって評価する。

■学修領域（教育分野）

- ①情報技術
- ②ロボット制御
- ③生体システム